

合格体験記

<2008年度第1回>

3回目の受験でようやく合格できました。1回目53、2回目56ともう一歩何か足りないとは知りつつその「何か」がわからず、藁をもつかむ思いで野中先生のレッスンを受け始めたのは3回目の試験の2カ月弱前のことでした。あきらめかけていた僕に対し「2次を受けられることだけでも幸せですよ」「楽しんでやりましょう」と励ましてもらい、再び挑戦する元気を取り戻すことができました。レッスンでは、英語だとよく脱線したり突飛な意見を言うってしまう自分の欠点に対し、常に冷静で的確なアドバイスでうまく軌道修正していただきました。自分の考えを細かく言おうとすることよりも、いかに相手に分かりやすくシンプルに伝えるか、そしていかに基本を崩さず適度なコミュニケーション力があることを面接官に見せるか、を教わったように思います。本番では、緊張しておかしな発言をしてしまい、絶対ダメだと思っていました。それでも65点で何とか合格できたのは、先生のレッスンで学んだことがベースにあって、前回よりも実力が底上げされていたからだと思います。現に、文法・語彙・発音の点が前回に比べ6点上がったのは、レッスンで本番形式の練習を繰り返していたおかげだと思います。

この英検1級の2次は、語学力以外にも様々なものが要求される非常に難しい試験だと思います。個人で勉強しているだけではどう対策していいかわからなくなりがちで、僕も途方にくれてしまうことが多々ありました。そうしたときに先生の週1回のレッスンで活力をもらい、徐々に本番の形式に慣れつつ、とにかくあきらめずにレッスンに通い続けていたことが結果につながったと改めて痛感しています。本当にありがとうございました。

H.O. (会社員)

英検の、二次面接試験は、半分位の人が、合格するので、安易に考えがちですが、難関の一次試験を突破した人ばかりでの戦いで、そう甘くはありません。私は、一回目の二次面接に失敗した後、野中先生の元に通い、二次面接に必要な、スキルを教えてくださいました。スピーチ・ストラクチャー、Q&Aでの受け答え方などを試験に出そうなトピックで練習しながら学びました。今回の二次試験では野中先生のレッスンで、やったことのあるトピックスがあり、そのとき頂いた資料も読んでいたので、Q&Aにもそれが活かされ合格につながったのだと思います。

小坂田 美智子 (主婦)

初めての2次試験が59点で不合格だった私は、次の試験に自力で臨むかどうか迷っていましたが、しかし先生とのお話しのなかで、合格に届かなかった1点には、実は大きな意味があることを知り、見学したその日にお世話になることに決めました。毎回本番形式で即興のスピーチ練習ができること、英作文の添削指導が受けられることも魅力でした。試験当日は和やかな雰囲気だった1回目とは正反対の、ほとんど笑顔をみせない二人の面接官の方が、至近距離からじっと私の顔を直視するなかでの面接で、大変に緊張しました。あのような状況下にもかかわらず合格できたのは、野中先生の、入室から退室に至るまでの、隅々まで行き届いた指導と、本番形式の練習を重ねたことが、私を支えてくれたからだと思います。先生のレッスンを受けていなかったら、今回の合格は決してありませんでした。本当にありがとうございました。

Y.S. (主婦)